

機関番号

51303

平成26年度「大学教育再生加速プログラム」申請書

1. 設置形態	1	国立	2. 学校種別	3	高等専門学校	
3. 大学名	仙台高等専門学校					
4. 所在地	〒	989-3128	住所	宮城県仙台市青葉区愛子中央4丁目16番1号		
5. テーマ	テーマI					
6. 申請者 (学長等)	(ふりがな) 氏名	内田	龍男	職名	校長	
7. 事業者 (大学等の設置者)	(ふりがな) 氏名	小畑	秀文	職名	理事長	
8. 事業担当者	(ふりがな) 氏名	竹島	久志	職名	情報システム工学科 教授	
9. 共同申請校	該当なし					
10. 学部等名 (学生が所属する全ての 部局名を記入)	機械システム工学科、電気システム工学科、マテリアル環境工学科、 建築デザイン学科、知能エレクトロニクス工学科、情報システム工学科、 情報ネットワーク工学科					
	総 入 学 定 員			280人		

11. 学校教育法施行規則第172条の2第3項において「公表するものとする」とされた教育研究活動の状況についての情報のHP等における公表の有無	有
---	---

12. 事業期間	平成26年度～平成30年度(5年間)
----------	--------------------

13. 申請経費						
年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合 計
申請額 (単位千円)	38,920	38,120	27,000	15,165	15,485	134,690

14. 事業の概要(※400字以内)

アクティブラーニングを実践するための全学的な授業改革ならびに抜本的なカリキュラム改革を行う。本校ではすでにアクティブラーニングが一部の授業で実施され、その有効性が確認されている。学生の主体的な学びをサポートするICTを活用した学習支援システムも開発されている。さらに次世代型教育推進室が設置されアクティブラーニングを浸透させる体制が整っている。残る課題は、全教員の意識改革、スキルの向上である。本事業では徹底した教員研修により意識改革、スキル向上を行い、アクティブラーニングを加速度的に浸透させる。さらにカリキュラムを抜本的に改革し、5年以内に全科目の90%をアクティブラーニング化する。併せて開発する教育効果測定法により本事業の有効性を確認し、その成果を世界的に発信することまでを事業とする。ひいては、21世紀を生き抜くスキルを持った人材ならびに新しい分野を切り開く超有為な人材の育成に貢献する。

396.5文字